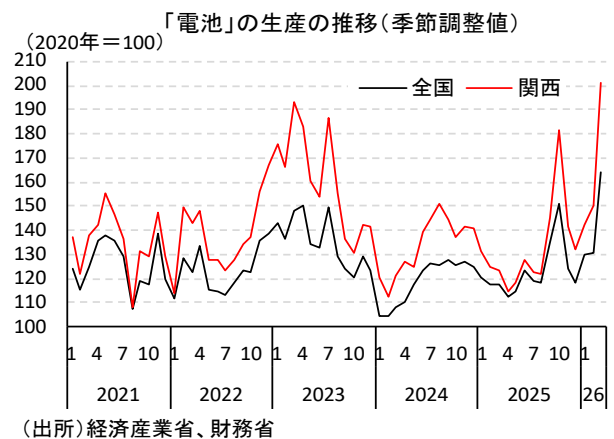
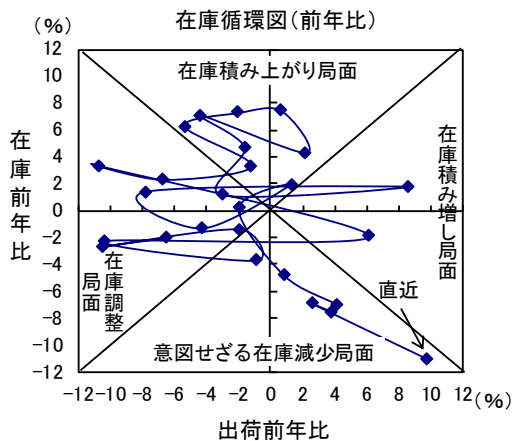
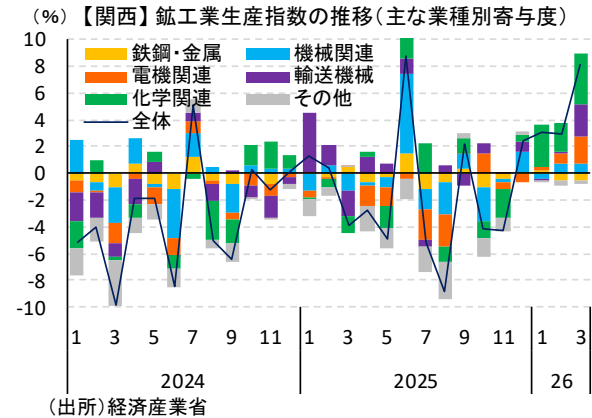
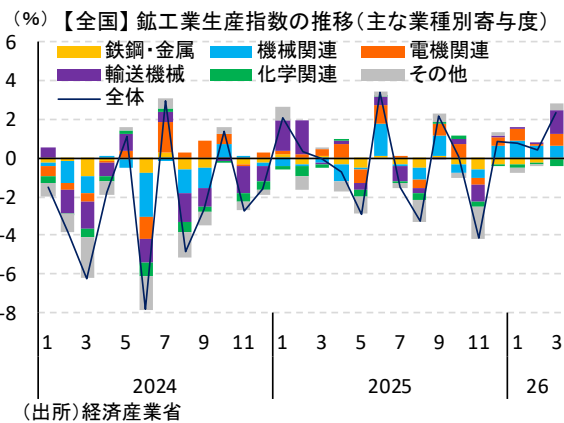


関西の景気トピックス【鉱工業指数（26年3月）】

- 26年3月の鉱工業生産動向（近畿経済産業局）によると、生産（原数値）は前年比で8.1%増と、4か月連続の増加となった。業種別には、医薬品などの化学関連や、電池などを中心とした電機関連、昨年に落ち込んだ自動車関連が伸び、全体を押し上げる形となった。
- 在庫循環の状況を見ると、前月と同様に、「需要の増加に生産が追いつかず、在庫が減少する」意図せざる在庫減少局面となっている。しばらくこの局面が続いている中、来月以降の動向が注目される。
- このところは生産の増加傾向が続いているが、過去2か月が化学関連中心の増加であったのに対し、今月は電機関係も伸びている。内訳としては電池の増加が目立ったが、電池はEV向けの供給が中心となる中、中東情勢の影響を受けている可能性もあり、今後の推移が注目される。



※近畿の鉱工業指数に関する詳細は近畿経済産業局HPにてご確認ください。